

尚綱はさらに深化します。

新しい時代の“良妻賢母”が集う学び舎から。

建学の精神が支える

女性のためのステージ

今は遥か1888（明治21）年に開校した済々黌附属女学校を源とする尚綱学園。「知徳併進」を建学の精神に、知育、徳育、体育を重んじ、良妻賢母の育成を目的に女子教育に貢献してきました。以降、熊本地域における女子総合学園として時代のニーズに即した

に営みうる女性こそ、時代が求める「深化」した良妻賢母です。社会で活躍する女性が、いつの日も伸びやかにその個性を輝かすことができるよう、本学園はここに集い学ぶ女性たちの支えとなるべく、その役割を果たしていきま

部として、総合生活学科、食物栄養学科、幼児教育学科の三学科体制としました。更に大学に新学部を誕生させました。それが生活科学部 栄養科学科の新設です。これまでも本学園では将来の社会的ニーズに添えるべく、管理栄養士の育成に力を注いできました。その意図は、4年制の学部学科の設置にあり、今春の開校はその計画の実現にほかなりません。単なる管理栄養士の養成にとどまらず、高度な栄養管理能力を身に付け、社会からの要請に応え、貢献できる「食のスペシャリスト」として育ち、活躍できる人材の育成をめざし、新たなスタートを切ることとなりました。

食のスペシャリスト育成のために

尚綱大学は従来の文学部を文化言語学部へ改組し短期大学を短期大学

こととなりました。



新学部誕生
新校舎落成

礎 いしづえ | vol.06 Contents

◎巻頭特集	巻頭
新学部誕生。 新校舎落成。	
先端設備、新校舎で時代の「食」を科学する	02
開かれた学園を目指して	03
3学科は食のスペシャリストを育成する	04
生活科学部のニューフェイス	05
熊本の食はわたし達が守ります	06
社会が魅せられる学び舎を旨ざして	07
【尚綱学園史】明治のオルガン	08
キャンパス イベント レポート	09
オープンキャンパス	巻末